

学校だより

市立札幌豊明高等支援学校
平成30年4月27日発行
第2号

【本校の進路状況について】

進路指導部長 小原 要

平成29年度卒業生の進路状況をご報告いたします。まずは図1をご覧ください。50名の卒業生のうち「企業就労」が22名、「就労継続支援A型事業所」が10名となり、「就職率」は64%となりました。また、「就労移行支援事業所」が11名、「就労継続支援B型事業所」が5名、「自立訓練」が0名、「その他」2名という結果となっています。昨年度同様、就職(雇用契約を結ぶ)をする生徒が非常に多くなりました。

就労先企業の職種としては、スーパー・量販店・コンビニ等が7名と一番多く、続いて物流が4名、食品加工・製造と福祉・学校がそれぞれ3名、フードサービスが2名、オフィスサービス、清掃、解体がそれぞれ1名となっております。

一方、図2は過去5年間の進路状況の推移を表しています。年度による進路先の違いがグラフの形にはつきりと表れています。要因としては求人数の増加、福祉サービスを巡る状況の変化等考えられますが、いずれにせよ時代の変化に取り残されることなく、どんな情勢にも対応できる進路指導が求められていることは間違いありません。

また、今年度を実施された「障害福祉サービス等報酬改定」の中で、「就労移行支援における一般就労移行後の定着実績に応じた基本報酬の設定」がなされました。就労移行後の定着支援を促す力となる一方で、事業所運営の立場からすると難しい局面が増えてくることも予想されます。前年度からのA型を巡る状況とあわせて、移行支援事業所についても、常に最新の情報をもとに慎重にご検討ください。

現在、進路指導部では実習先を精力的に開拓しております。ニーズ、適性などを総合的に判断して、それぞれの実習先をご紹介させていただきたいと思っております。進路に関わることは担任・副担任・各学年の進路担当者いつでも遠慮なくご相談ください。

